

課題番号：デブリ-217

課題名	廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「取り出し工法・システム」 課題「燃料デブリへのアクセスルートの構築」		時間軸情報 汚染水対策 使用済燃料プールからの燃料取り出し 燃料デブリ取り出し PCV/RPV/建屋の解体 輸送・保管・貯蔵 処理・処分・環境回復						
	段階	Design							
	ニーズ	望ましい状態とその理由		(参考) 関連する研究課題					
	1	干渉物を撤去したい。		●燃料デブリ取り出しに係る機器・装置の搬入、設置、搬出等のために、作業可能な環境に線量低減がなされていることに加え、干渉物が安全に撤去されることが望まれる。 ●燃料デブリ取り出しを行うにあたり干渉物（BSWやPCV壁等）の撤去を安全に実施するために、PCV及びRPVからの放射性物質の放出抑制、既存の構造物の健全性維持を考慮した干渉物撤去方法の確立が望まれる。	【実施されている研究課題】 廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出しに向けた技術の開発（燃料デブリ取り出し工法の開発）」 廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出し基盤技術の高度化（取り出し装置設置のための要素技術開発）」 廃炉・汚染水対策事業「原子炉圧力容器内部調査技術の開発（アクセス・調査装置の開発）」				
					【検討されている研究課題】 特になし				
	2	安全性を考慮したアクセスルート構築方法を具体化したい。		●燃料デブリ取り出しに係る機器・装置を安全（例えば耐荷重の超過等）に搬入・設置するために、具体的なアクセスルート構築方法を検討することが望まれる。 ●高線量廃棄物の増加や被ばくの著しい増大が避けられないシステムを避けることを考慮しつつ、ベデスタル下部やRPV底部等の各所に存在する可能性のある燃料デブリに対して、適切なアクセスルートを構築することが望まれる。	【実施されている研究課題】 廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出しに向けた技術の開発（燃料デブリ取り出し工法の開発）」 廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出し基盤技術の高度化（取り出し装置設置のための要素技術開発）」				
【検討されている研究課題】 特になし									
関連する課題	デブリ-102「PCV・RPV内部の構造物の状況把握」 デブリ-104「PCV・RPV内部の線量の把握」 デブリ-105「炉内状況の知見集約」 デブリ-106「建屋内の汚染状況の把握」 デブリ-211「PCV・建屋の構造健全性確保」 デブリ-301「PCV内燃料デブリ取り出し」 デブリ-302「RPV内燃料デブリ取り出し」								